



学友支援 ニュース・レター 特別号 No.83

発行：金沢大学学友支援室

2017年11月20日

TEL：076-264-5081

mail：gakuyu@adm.kanazawa-u.ac.jp

ホームページ：http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_gakuyu/index.html

第11回ホームカミングデイを開催



平成29年10月28日(土)、紅葉の金沢大学角間キャンパスにて、第11回金沢大学ホームカミングデイが開催されました。

歓迎式典には191名、懇親交流会には161名の卒業生及びそのご家族等にご出席いただき、同級生の再会等で大変盛況で賑やかな一日になりました。歓迎式典は、金沢大学合唱団及び出席者全員による校歌斉唱で始まりま



● 学長挨拶



◆挨拶を述べる山崎学長

金沢大学学長挨拶で山崎光悦(やまざきこうえつ)学長は、主な教育改革として、スーパーグローバル大学創成支援事業4年目では、学生をグローバルに育てよう英語力強化に取り組んでいる。

大学院高度化では、来年から北陸先端科学技術大学院大学との共同大学院がスタートする。学士課程では、学域学類制10年目で見直す時期がきているので、人間社会研究域と理工学域を見直す。

研究面では、WPI(世界トップレベル研究拠点形成プロジェクト)10番目に採択され、10年プロジェクトとして、金沢大学が世界に飛躍するための、大きなチャンスをつかみ取ることができたと考えている。是非いろいろな形でご支援をお願いしたい旨挨拶がありました。

● 金沢大学の近況報告



◆金沢大学の近況を報告する柴田理事

柴田 正良(しばた まさよし)理事(教育・法科大学院強化担当)・副学長から、「地球に愛され、世界に輝く大学へ」と題し、

- ①金沢大学のプロフィール、
- ②金沢大学ブランド人材の育成、
- ③世界トップレベルの研究拠点形成、
- ④グローバル・ネットワークの拡大、
- ⑤拠点病院としての機能強化、
- ⑥大学と地域との相乗的連携

について、本学の近況報告があった。

● 学友会会長祝辞

来賓を代表して祝辞を述べられた山出 保(やまだ たもつ)金沢大学学友会会長は、金沢大学が世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)に採択されたことは、昨年、重点支援③を選択し頑張ってきた結果ではないかと思う。日本海側のトップ大学として法科大学院の継続もぜひお願いしたい。また、石川県内の小中学生の全国学力テストは、常に上位を占めている。将来、高校生になるので、大学選択時に金沢大学教員と事務が一体となり、金沢大学に呼び込む試みがあってもよいのではないかと。さらに県外の学生の呼び込みも頑張してほしいとの激励の言葉を贈られました。



◆祝辞を述べる山出会長(法文学部・昭和29年卒業)

● キャンパス見学会を実施

10月28日(土)の午前中に、昨年に引き続きキャンパス見学会4コース(①旧城内、②医学、③角間北、④角間南)を開催しました。

総勢約90名の方が参加され、青春を謳歌したキャンパス、勉学に励んだ場所や他学部の研究室等を興味深く見ていました。

● 学生の留学体験報告

- 人間社会学域国際学類4年 藤本 紗綾(ふじもと さあや)
「金沢から世界へ」アイルランド ダブリンシティ大学
(平成27年9月～平成28年5月)
- 自然科学研究科物質化学専攻D3 山本 晃平(やまもと こうへい)
「博士課程での生活(大学での学びと留学体験)」
カナダ クイーンズ大学(平成27年6月～平成27年9月)



◆報告する藤本さん(左側)、山本さん(右側)

● 特別講演

医薬保健研究域保健学系長の教授 稲垣 美智子(いながき みちこ)氏から、「現代における健康、そして保健学」と題し、ご講演をいただきました。

講演では、①健康のとらえ方と健康への対応、②平均寿命と健康寿命、③ナイチンゲールの健康観(病気は回復過程である)、④保健学について、現代の健康とは何かをわかりやすく話されました。

①健康のとらえ方と健康への対応では、病気の有無にかかわらず、豊かに生きる状態を創ること(身体的、心理的、社会的に良い状態)であるが、しかし命には限りがある。②平均寿命と健康寿命では、寿命を脅かすもの(がん、心臓病等)は、医者は治すことができるが、健康寿命を脅かすもの(認知症、関節痛疾患等)は、医者は完全に治すことはできず、自らが長く関わっていくものとされている。人間は、必ず老化があり寿命が来る。つまり寿命までには、不健康(介護が必要な状態)を体験し、その期間が平均約10年あるとされている。③ナイチンゲールの健康観(病気は回復過程である)では、病気とはウイルスに蝕まれるか衰弱することで、そのため修復しようとする自然な努力が必要であるが、不足するとその治癒過程全体が中断される。④保健学では、保健学類にある5つの専門職人材養成(七つの国家資格)として、看護学、放射線技術科学、検査技術科学、理学療法学、作業療法学の5専攻があり、病気との関わりを通して各々説明がありました。

健康的に過ごす生活は、三大要素(睡眠、運動、食事)を摂り、健康寿命を達成し、ほどよい老化(ユーモアも必要)の目標を達成することが大切であると話されました。



◆講演する 稲垣美智子氏
医薬保健研究域保健学系 教授
(医療技術短期大学部・昭和51年卒)

● 第7回金沢大学学友会役員総会

第7回金沢大学学友会役員総会は、学友会役員の改選が行われ、次期学友会会長として山出 保 氏の再任が承認されました。山出会長は、次期学友会役員候補者の方々に、その職を委嘱する旨宣言し、次期役員等が決定しました。

加納 重義(かのう しげよし)学友会代表理事からは、学友会登録同窓会として「浜松ホトニクス金沢大学同窓会(金大会)」と「金沢大学体育会ヨット部OB会」の2団体の入会が承認されたこと、山出会長には学位記授与式にて祝辞をいただいたこと、入学宣誓式にご列席いただいたことが報告されました。

【学友会新役員(平成29年10月28日~平成31年10月27日)】

- | | | | |
|-------|------------------------|--|--|
| 会 長 | 山出 保 (法経文) | | |
| 副 会 長 | 安宅 建樹 (法経文)、金浦 修郎 (教育) | | |
| | 中西 孝 (理)、中村 信一 (医) | | |
| | 松原 孝祐 (保健)、向 智里 (薬) | | |
| | 加納 重義 (工) | | |
| 代表理事 | 加納 重義 (金沢大学副学長) | | |
| 理 事 | 鳥越 伸博 (法経文)、澤野 等 (教育) | | |
| | 山本 政儀 (理)、大井 章史 (医) | | |
| | 松崎 太郎 (保健)、松下 良 (薬) | | |
| | 千木 昌人 (工)、喜田惣一郎 (四高) | | |
| 監 事 | 徳野 光宏 (法経文)、岩田 靖夫 (教育) | | |



◆フィルの演奏

● 懇親交流会

歓迎式典後の懇親交流会は、山出会長の乾杯(日本酒:角間の里)発声により開会しました。会場では、フィルハーモニー管弦楽団による開会前(曲目:美女と野獣)と乾杯後(曲目:カーペンターズメドレー)の演奏があり、次に、J.M.S(ジャグリング・アンド・マジックサークル)のポイとボールの演技があり、懇親交流会を大いに盛り上げました。

その後、恒例の揃いの法被に身を包んだ同窓生有志による「金沢大学校歌」「北の都」「南下軍の歌」の高唱があり、ボルテージは最高潮に達しました。

最後に、加納副学長から、締めめの挨拶があり、万歳三唱で終了しました。



◆卒業生有志による校歌・索歌の高唱



◆J.M.Cのポイ(左側)、ボール(右側)



◆加納副学長による開会の挨拶

- 大学が業者に名簿作成を依頼することはありません。電話等による勧誘には十分ご注意ください。
- 地域・職域・サークル・寮等の同窓会活動の近況や総会・懇親会等の開催日程、開催報告等を「学友支援ニュース・レター」に掲載ご希望の場合は、学友支援室までご連絡ください。